

教員紹介

谷口 隆一郎 タニグチ リュウイチロウ 教授、政治政策学研究科長

- ①デモクラシー・人権研究/公共哲学/公共哲学演習I・II
- ②聖学院大学政治経済学部長、教授
- ③Ph.D.(アムステルダム自由大学)
- ④Liberalism and Its Metaphysical Difference:A Critique of the Ground of F.A. von Hayek's Political Philosophy(VU University Press,1998)、『コミュニティ政策研究の課題』(編・共著、三恵社、2010年)、『横超の倫理—ローティ、ハイエク、シンガーを超えて』(春風社、2015年)

阿久戸 光晴 アクド ミツハル 教授

- ①デモクラシー・人権研究/キリスト教文化学研究C
- ②学校法人聖学院理事長・院長、聖学院大学教授
- ④「近代デモクラシー思想の根源」「新しき生」(聖学院ゼネラルサービス)、『ウェバー・トレルチ・イエリネック』「神を仰ぎ、人に仕う」『教育の神学第3集』(共著、聖学院大学出版会)

石川 裕一郎 イシカワ ユウイチロウ 教授

- ①憲法研究
- ②聖学院大学政治経済学部教授
- ③修士(法学)(早稲田大学)
- ④「国家の論理といのちの倫理:現代社会の共同幻想と聖書の読み直し」(共著、新教出版社、2014年)、『憲法理論叢書②:憲法と時代』(共著、敬文堂、2014年)、『憲法未来予想図:16のストーリーと48のキーワードで学ぶ』(共著、現代人文社、2014年)、『リアル憲法学[第2版]』(共著、法律文化社、2013年)

大高 研道 オオタカ ケンドウ 教授

- ①社会的企業論/社会的企業論演習I・II
- ②聖学院大学政治経済学部教授
- ③Ph.D.
- ④「地域学習の創造」(共著:東京大学出版会、2015年)、『社会教育としてのESD』(共著:東洋館出版社、2015年)、『協同組合 未来への選択』(共著:日本経済評論社、2014年)、『協同組合は「未来の創造者」になれるか』(共著:家の光協会、2014年)、『新自由主義下の地域・農業・農協』(共著:筑波書房、2014年)、『闘う社会的企業』(共編著:勁草書房、2013年)、『労働の場のエンパワメント』(共著:東洋館出版社、2013年)ほか

柴田 武男 シバタ タケオ 教授

- ①経済学研究A/企業財務論研究/経済学演習I・II
- ②聖学院大学政治経済学部教授
- ④「企業は環境を守れるか」(岩波書店)、『ソーシャル・インベストメントとは何か』(共著、日本経済評論社)、『現代証券事典』(共著、日経)

平 修久 タイラ ノブヒサ 教授

- ①まちづくり論研究/まちづくり論演習I・II
- ②聖学院大学副学長、聖学院大学政治経済学部教授
- ③Ph.D.
- ④「もう一つのスマートグロース」(三恵社)、『危機発生!そのとき地域はどう動く』(共著、第一法規)、『地域社会に求められる人口減少対策』(聖学院大学出版会)、『情報化で蘇る都市』(共著、ビジネス教育出版社)、『首都圏自治体の攻防』『成熟都市東京のゆくえ』(共著、ぎょうせい)

土方 透 ヒジカタ トオル 教授

- ①現代社会理論研究
- ②聖学院大学政治経済学部教授
- ③博士(社会学)
- ④「法という現象—実定法の社会学的解明」(ミネルヴァ書房)、『宗教システム/政治システム』(編著、新泉社)、『現代社会におけるポスト合理性の問題』(編著、聖学院大学出版会)、『リスク』(共編著、新泉社)、『Das positive Recht als soziales Phänomen, Duncker & Humblot, Riskante Strategien (Hg.) Westdeutscher Verlag. ほか

宮本 悟 ミヤモト サトル 教授

- ①政治学研究
- ②聖学院大学政治経済学部政治経済学科長補佐、教授
- ③博士(政治学)
- ④「北朝鮮ではなぜ軍事クーデターが起きないのか?—政軍関係論で読み解く軍統制と対外軍事支援」(潮書房光人社、2013年)、『Japanese and Korean Politics: Alone and Apart from Each Other, (共著、Palgrave Macmillan, 2015)、『「新しい戦争」とは何か-方法と戦略-』(共著、ミネルヴァ書房、2016年)。

八木 規子 ヤギ ノリコ 教授

- ①組織行動論研究
- ②聖学院大学政治経済学部准教授
- ③Ph.D. (University of Kansas)
- ④Boundary work: An interpretive ethnographic perspective on negotiating and leveraging cross-cultural identity(共著、2011年)、『Journal of International Business Studies, 42 (5), 629-653. Stages and Paths of Firm Internationalization: Testing the Value Chain Internationalization Framework(共著、2013年)、『Journal of Comparative International Management Vol. 16, No. 1, pp. 3-22.

金子 毅 カネコ タケシ 准教授

- ①経営文化論
- ②聖学院大学政治経済学部准教授
- ③博士(乙・人間環境学)(九州大学)
- ④「八幡製鉄所・職工たちの社会史」(草風館、2003年)、『「安全第一」の社会史』(社会評論社、2011)、『現代民俗誌の地平 第一巻(越境)』(共著、朝倉書店、2003年)、『会社のなかの宗教—経営人類学の視点』(共著、東方出版、2009年)

木村 裕二 キムラ ユウジ 特任講師

- ①民事法と実務A/民事法と実務B
- ②日本弁護士連合会嘱託研究員(元弁護士)
- ④「ヤミ金融」(花伝社)、『Q&A改正貸金業法・出資法・利息制限法』(共編著、三省堂)

大塚 健司 オオツカ ケンジ 非常勤講師

- ①埼玉地域政策研究
- ②聖学院大学政治経済学部講師

教員紹介

児玉 博昭 コダマ ヒロアキ 非常勤講師

- ① 公共政策研究
- ② 白鷗大学法学部教授
- ③ 修士(法学)

佐藤 一子 サトウ カツコ 非常勤講師

- ① 地域文化論
- ② 東京大学名誉教授
- ③ 博士(教育学)
- ④ 「生涯学習と社会参加」(東京大学出版会、1998年)、「NPOの教育力」(編著、東京大学出版会、2004年)、「現代社会教育学」(東洋館出版社、2006年)、「イタリア学習社会の歴史像」(東京大学出版会、2010年)、「地域学習の創造」(東京大学出版会、2015年)など

▶ 税法分野 教員のご紹介

国税庁OB・税務大学校元教授の経歴を持つ、
税法のスペシャリスト3名の教授が担当します



特任教授 [専門分野]
吉川 保弘 法人税法・国際課税法

[担当科目]
租税法研究A / 租税法A演習I・II /
総合文化学特殊研究

東京国税局調査第一部特官付調査官・主査、国際情報専門官(移転価格調査担当)、研究部教授、調査情報部門統括官(移転価格調査担当)、課税第一部主任訟務官(国際課税班担当)、税務大学校研究部主任教授、四谷税務署長を経て、2015年4月より現職。

[著書]『詳解国際税務』(清文社)、『国際課税質疑応答集』(法令出版)、『非居住者税制と源泉徴収質疑応答集【100問】』(法令出版)。その他国税庁大論叢書、論文多数。

[受賞歴]1985年:日税研究賞受賞「外税控除制度とタックスハイブレン制度を巡る諸問題」1994年:日税研究賞受賞「トランスファープライジングと我が国の規制税制」



特任教授 [専門分野]
野田 扇三郎 法人税法・消費税法・
財務諸表論

[担当科目]
租税法研究B / 租税法B演習I・II

東京国税局調査部(主査、国際専門官、調査総括課長補佐)、税務大学校研究部教授、調査第一部特別国税調査官、調査第二部統括国税調査官、調査第二部調査総括課長、葛飾税務署長を経て、2016年4月より現職。

[著書]『税理士必携 誤りやすい申告税務詳解Q&A』(吉川保弘監修 清文社)、『社長! その税務対策は大丈夫ですか?一節税は当然 行過ぎは危険! アクセル全開は 知らずスピード違反に』(清文社)。



客員教授 [専門分野]
佐藤 謙一 所得税法・租税手続法

[担当科目]
租税法研究C / 租税法C演習I・II

東京国税局課税第一部審理課課長補佐、税務大学校研究部教授、課税第一部国税訟務官室国税訟務官・主任国税訟務官、総務部主任税務相談官(審理担当)、鎌倉税務署長などを経て、2015年10月國學院大学大学院講師、2016年4月同大学特任教授、同月聖学院大学大学院客員教授

[著書]『図解 国税通則法(平成27年版)』(大蔵財務協会 共著。同書は平成22年から同24年を除き毎年発刊)、『現代裁判法体系29 租税訴訟』(新日本法規 共著)。最近の論文に「白色申告に対する更正の理由附記をめぐる諸問題—所得税に係る不利益処分等を中心として—」(税大ジャーナル)などがある。

▶ 修了生紹介



優秀な講師陣による充実した
講義を受けられる環境。

富澤 武憲

聖学院大学大学院を選んだ一番の理由は、優秀な講師陣が揃っており、税法関連の研究に尽力できる環境であるということ。大学院進学のための予備校に通っていたとき、講師からの評判がよかったことも背中を押してくれました。大学院入学後は、元弁護士や著名な講師の授業を受けることができる環境に驚きました。実在する判例を挙げ、それを実際に担当した元弁護士から講義を聞くという贅沢な環境は、日々とてもいい刺激になっています。修士論文では、税務調査において重要性の高い質問検査権(税務調査官の調査権)について考察。マイナーなテーマでしたが、指導教員からは客観的立場からの確かなアドバイスを受けることができ、とても感謝しています。



基礎から応用まで。
経験豊富な教員からの丁寧な指導。

会田 篤

大学院受験のための予備校で、「優秀な教員が揃っている」という評判を聞いたのが、聖学院大学大学院との出会い。仕事をしながらでも通うことができる環境であったことも大きな理由でした。私は主に税法について学んでいますが、授業では教員が基本となる理論から応用的な考え方で、丁寧に解説していただきます。税理論の理解というのは、税理士試験の専門学校の勉強だけではなかなか身につかないもの。講義を通してそれらをしっかりと身につけることができます。また、まちづくりに関する科目や統計学を学べる講義もあり、知識の幅を広げることができました。修士論文の執筆は大変な作業ですが、指導経験豊富な講師陣がきめ細かく指導していただきました。